

キング・オブ・キングス (1961)

KING OF KINGS

メディア 映画

ジャンル ドラマ 歴史劇

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 168分

初公開日 1961/12/15

公開情報 MGM

【解説】

27年のセシル・B・デミル監督によるキリスト伝のリメイクだが、ノー・スター配役で、監督レイは極力これみよがしを避け、共感できる作品に仕上げている。序曲、休憩中の間奏、後奏と当時の大作映画のスタイルに則ったM・ローザの音楽が立派だが多少やかましいのと、唯一名の通ったキャストのR・ライアの洗礼者ヨハネとヘロデ王とサロメのからみに若干のハリウッド的な彩りが見られるだけで、イエス受難の後段など、レイの力のこもった演出には、それまでの聖人伝のパターンを乗り越えようとする意欲が満々にみとれる。BC73年のポンペイウスのユダヤ神殿襲来に端を発し、必ずしもイエスの生涯に焦点をあてていないわけではない前段は、散漫には違いないが、彼をいきなり神の子と祀り上げない、その抑制された調子が後半を見応えあるものにする。主演のハンターはイエスを演じるには大分逞しい風貌だが、瞳の美しさが印象的。数々の奇跡についても“癒し”の側面を強調したのは正解で、その部分や最後の復活の演出にレイは真骨頂をみせる。イエスの代わりに助かる盗賊バラバを、叛乱軍のリーダーとして描いているのは硬派の脚色者ヨーダンの創意だろうが、これも作品にリアリティを盛っている。ゴルゴダの丘を十字架を背負ってイエスが往く場面を、ひたすら俯瞰（神の目）から写すのも、人間イエスを巧みに表現して秀抜だった。ナレーターはオーソン・ウェルズ。

【クレジット】

監督	ニコラス・レイ	Nicholas Ray	
製作	サミュエル・ブロンストン	Samuel Bronston	
脚本	フィリップ・ヨーダン	Philip Yordan	
撮影	フランツ・プラナー	Franz Planer	
	ミルトン・クラスナー	Milton Krasner	
	マヌエル・ベレンガー	Manuel Berenguer	
編集	ハロルド・F・クレス	Harold F. Kress	
音楽	ミクロス・ローザ	Miklos Rozsa	
出演	ジェフリー・ハンター	Jeffrey Hunter	イエス
	シオバン・マッケンナ	Siobhan McKenna	マリア
	ハード・ハットフィールド	Hurd Hatfield	ピラト
	ロン・ランデル	Ron Randell	ルシアス
	ヴィヴェカ・リンドフォース	Viveca Lindfors	クロデア
	リタ・ガム	Rita Gam	ヘロデア
	カルメン・セヴィラ	Carmen Sevilla	マグダラのマリア
	ブリジット・バズレン	Brigid Bazlen	サロメ
	ハリー・ガーディノ	Harry Guardino	バラバ
	リップ・トーン	Rip Torn	ユダ

フランク・スリング	Frank Thring	ヘロデ	
ガイ・ロルフ	Guy Rolfe	カヤパ	
ローヤル・ダーノ	Royal Dano	ペトロ	
ロバート・ライアン	Robert Ryan	ヨハネ	
モーリス・マルサク	Maurice Marsac	ニコデモ	
グレゴワール・アスラン	Gregoire Aslan	ヘロデ大王	
ジョージ・カラリス	Geroge Coulouris	ラクダ引き	
コンラード・サン・マルティン	Conrado San Martin	ポンペイ将軍	
ジェラルド・ティシー	Gerard Tichy	ヨセフ	
ホセ・アントニオ	José Antonio		
ルイス・プレンドス	Luis Prendes		
ホセ・ニエト	Jose Nieto		
ルーベン・ロホ	Ruben Rojo		
フェルナンド・サンチョ	Fernando Sancho		
アンドリアーノ・リモルディ	Adriano Rimoldi		
バリー・キーガン	Barry Keegan		
フランク・ブラナ	Frank Brana		(クレジットなし)
ジョン・カー	John Kerr		(クレジットなし)
ポール・ナッチー	Paul Naschy		(クレジットなし)
アルド・サンブレレル	Aldo Sambrell		(クレジットなし)
声の出演 オーソン・ウェルズ	Orson Welles	ナレーター	(クレジットなし)
レイ・ミランド	Ray Milland	サタン	(クレジットなし)